

市内循環バス見直しの考え方

(1) 市内循環バス見直しの方針

■ 市内循環バスの運行目的（平成13年運行開始当時）

- 公共交通空白地域の解消
- 高齢者等交通弱者の移動手段の確保

■ 市内循環バスへの改善の要請

- 市民・利用者からの要望
 - ・利便性向上
 - 「相互運行の実施」
 - 「運行本数の増便」
 - 「桶川駅への速達性向上」 等
- 市からの要請
 - ・総合計画・総合戦略等の上位計画からの要請
 - 「歩いて暮らせるまちづくりの実現」
 - ・持続可能な行政負担額のあり方の検討

■ 市内循環バス見直しの前提条件

- 桶川市における公共交通の骨格となる民間路線バスのルート及び運行サービス、タクシーサービスの維持

市内循環バスは、

民間路線バス・タクシーを補完し、より市民が利用しやすい運行サービスの提供を目指す。

■ 市内循環バス見直しの方針

1. 民間路線バスを維持する観点から、路線バスとの競合を極力回避する。
2. 桶川駅への速達性を向上するルート及び運行形態とする。
3. ルートの所要時間が拡大しない範囲で、市内の主要施設へのアクセスを確保する。
4. 見直しに当たっては、**路線バスとの均衡を考慮しつつ、運行サービスに見合った料金設定を行う。**
※要配慮者（高齢者等）の料金設定も必要に応じ検討する。